

コンクリート圧縮強度試験成績書

平成27年 1月16日

田川セメント工業所 殿

福岡県みやま市瀬高町千代田
株式会社 瀬高コンクリート
瀬高コンクリート株式会社

工 名	事 称	自社二次製品									
打込箇所											
呼 び 方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スラブ 又はスラブ フロー		粗骨材の最大寸法		セメントの種類による記号		
	普通		27		18		20		N		
指 定 項											
採取月日	試験月日	材齢(日)	番号	スラブ (cm)	空気量 (%)	温度 (°C)	最大荷重 (kN)	強度 (N/mm ²)	平均強度 (N/mm ²)	摘要	
12/19	12/26	7	1	18.0		16.0	161	20.5	20.5	標準養生	
			2				157	20.0			
			3				164	20.9			
12/19	1/16	28	1	18.0		16.0	255	32.5	32.4	標準養生	
			2				252	32.1			
			3				257	32.7			
備 考											
供試体寸法 φ100×200											
										担 当 者 池田 寛	

No.

田川セメント工業所 殿

製造会社名・株式会社 江崎千秋商店
瀬高生コン工場

[illegible]

レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

平成27年 1月20日

田川セメント工業所 殿

製造会社名・株式会社 江崎セメント株式会社

瀬高生コン工場

配合計画者名 池田 藤 印高秋社

工 事 名 称	自社二次製品												
所 在 地	久留米市荒木町今												
納 入 予 定 時 期													
本配合の適用期間 a)	(標準配合)												
コンクリートの打込み箇所													
配 合 の 設 計 条 件													
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ 又はスランプ フロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号								
	普通	27	18	20	N								
指 定 事 項	セメントの種類	呼び方欄に記載		空 気 量	— %								
	骨 材 の 種 類	使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m ³								
	粗 骨 材 の 最 大 寸 法	呼び方欄に記載		コンクリートの温度	— °C								
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法 b)	—		水セメント比の目標値の上限	— %								
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載		単位水量の目標値の上限	— kg/m ³								
	水の区分	使用材料欄に記載		単位水量の目標値の下限又は目標値の上限	— kg/m ³								
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスランプ増大量	— cm								
	塩化物含有量	0.3 kg/m ³ 以下											
呼び強度を保証する材齢	— 日												
使 用 材 料 c)													
セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社		密度 g/cm ³	3.16	Na ₂ Oeq % d)	0.63						
混和材①	製品名	—	種類	—	密度 g/cm ³	—	Na ₂ Oeq % e)	—					
混和材②	製品名	—	種類	—	密度 g/cm ³	—	%	—					
骨 材	No.	種 類	産 地 又 は 品 名	試験方法	粒の大きさの範囲 f)	粗粒率又は実積率 h)	密度 g/cm ³	微粒分量の範囲 % i)					
細 骨 材	①	砕砂	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	5以下	2.85	2.96	3.00	4.0±1.0				
	②	山砂	熊本県玉名郡南関町産	A 化学法	5.0	2.70	2.52	2.56	3.0以下				
	③	—	—	—	—	—	—	—	—				
粗 骨 材	①	碎石	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	15~5	—	3.05	3.07	0.5±0.5				
	②	碎石	熊本県玉名郡和水町産	A 化学法	20~10	60.0	3.06	3.07	0.5±0.5				
	③	—	—	—	—	—	—	—	—				
	④	—	—	—	—	—	—	—	—				
混和剤①	チューボールEX-50		種類	AE減水剤 (標準形 I 種)				Na ₂ Oeq % j)	0.8				
混和剤②	製品名 —			—					—				
混和剤③	—			—					—				
細骨材の塩化物量 k) ①0% ②0.003%				水の区分 l) 回収水 (上澄水) ・ 地下水		目標スランプ 固形分率 m)		— %					
配 合 表 n) kg/m ³													
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材			混 和 剤			
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
368	—	—	184	360	540	—	498	497	—	—	1.656	—	—
水セメント比		50 %		水結合材比 o)		— %		細 骨 材 率		50.5 %			
備考 骨材の質量配合割合 p), 混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。				骨材混合比 (質量混合)		細骨材①:②		40.0:60.0					
						粗骨材①:②		50.0:50.0					

アルカリ総量の計算表 q)			
アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc $Rc = (\text{単位セメント量kg/m}^3) \times (\text{セメント中の全アルカリ量Na}_2\text{Oeq:\%/100})$	①=Rc 2.318	—	$Rc = 368 \times 0.63/100 = 2.318$
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra $Ra = (\text{単位混和材量kg/m}^3) \times (\text{混和材中の全アルカリ量:\%/100})$	②=Ra	—	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs $Rs = (\text{単位骨材量kg/m}^3) \times 0.53 \times (\text{骨材中のNaClの量:\%/100})$	③=Rs 0.009	—	$Rs1 = 360 \times 0.53 \times 0/100 = 0.000$ $Rs2 = 540 \times 0.53 \times 0.003/100 = 0.009$ $Rs = Rs1 + Rs2 = 0.009$
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm $Rm = (\text{単位混和剤量kg/m}^3) \times (\text{混和剤中の全アルカリ量:\%/100})$	④=Rm 0.013	—	$Rm = 1.656 \times 0.8/100 = 0.013$
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp r) $Rp = (\text{単位流動化剤量kg/m}^3) \times (\text{流動化剤中の全アルカリ量:\%/100})$	⑤=Rp	—	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt $Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤$	Rt 2.340	3.0 kg/m ³ 以下	適

注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。

なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準の基本にしている配合で、標準状態の運搬時間における標準期の配合として標準化されているものとする。また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運搬時間が標準状態から大幅に変化する場合、若しくは、骨材の品質が所定の範囲を超えて変動する場合に修正を行ったものとする。

b) 表B.1の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。

c) 配合設計に用いた材料について記入する。

d) ポルトランドセメント及び普通エコセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリの値としては、直近6か月間の試験成績表に示されている、全アルカリの最大値の最も大きい値を記入する。

e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。

f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。

g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。粗骨材に対しては、砕石、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を、砂利では最大寸法を記入する。

h) 細骨材に対しては粗粒率の値を、粗骨材に対しては、実積率又は粗粒率の値を記入する。

i) 砕石及び砕砂を使用する場合に記入する。

j) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。

k) 最新版の骨材試験成績表の値(NaClとして)を記入する。

l) 回収水のうちスラッジ水を使用する場合は、“回収水(スラッジ水)”と記入する。

m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、3%以下のスラッジ固形分率の限度を保証できるように定めた値である。

n) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥飽水状態の質量で表す。

o) 高炉スラグ微粉末などを結合材として使用した場合にだけ記入する。

p) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。

q) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ別表に記入する。

r) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算する。

認 証 書

(認証番号) GB0807279

株式会社江崎千秋商店

代表取締役 江崎 千草 殿

福岡県柳川市三橋町柳河 728 番地の 1

工業標準化法第 19 条第 1 項の規定により日本工業規格の表示について下記のとおり
認証します。

記

1. 鉱工業品の名称 : レディーミクストコンクリート
2. JIS 規格番号、名称及び : JIS A 5308 レディーミクストコンクリート
JIS の種類又は等級 普通コンクリート・舗装コンクリート
3. 認証の区分 : 同 上
4. 工場の名称及び所在地 : 株式会社江崎千秋商店 瀬高生コン工場
福岡県みやま市瀬高町河内 1938-1

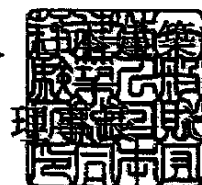
(認 証 日) 平成 20 年 3 月 12 日

(再発行日) 平成 26 年 2 月 26 日



大阪府吹田市藤白台五丁目 8 番 1 号

一般財団法人



総合試験所

文





登録番号 21301814

有効期限 2017年3月31日

登録証

コンクリート主任技士

氏名 池田 寛

生年月日 1953年8月11日

合格番号 00285034

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり

コンクリート主任技士として登録したことを証します

2013年3月31日

公益社団法人 日本コンクリート



会長

魚本健人

第25G16号

品質管理監査合格証

株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場 殿

貴工場は福岡県生コンクリート品質管理監査会議が平成25年度に実施した立入監査の結果全国統一品質管理監査基準に適合しているものと判定しここに合格証を交付する

記

有効期間 自平成26年4月 1日
至平成27年3月31日

平成25年12月9日

福岡県生コンクリート品質管理監査
議長 添田 政

